

関東私立高等学校男女バレーボール選手権大会における  
給水のためのタイムアウト（給水タイム）について

関東私立高等学校バレーボール連盟

本大会においては、選手の熱中症予防、健康管理の観点から「給水のためのタイムアウト」（以下、「給水タイム」とする）を採用します。以下に示すよう取り扱いますので、チームスタッフ、選手、レフェリーの皆さんは熟知されるようお願いいたします。

【給水タイムの手順】

1. 25点制の場合、各セットにおいてリードするチームが13点目に達したとき、30秒間の給水タイムを自動的に適用する。最終セット（第3セット）はチェンジコートをしたあとに適用する。また、両チームの得点が30:30となった場合は、2回目の給水タイムを実施する。  
第3セットが15点制の場合は、リードするチームが8点に達したときにコートチェンジをし、その後給水タイムとする。
2. タイムアウトと同様に、セカンドレフェリーが吹笛をして給水タイムに入る。30秒後に給水タイムの終了をセカンドレフェリーが吹笛をする（吹笛まで、選手はコート内に入ることとはできない）。
3. 給水タイムは、正規の試合中断の要求（タイムアウト、選手交代）やリベロリプレイスメントより優先される。上記を行う場合は給水タイム終了後にその手続きを行う。
4. 選手はウォーミングアップエリア付近、またはウォームアップエリア内で給水を行う。
5. 給水タイムは給水だけを目的としたものなので、選手（生徒のマネージャーも含む）だけで実施される。
6. 給水タイムの間、コートワイピングは認められる。フリーゾーンを使用したウォームアップは認められない。
7. ベンチスタッフ（生徒を除く）は、選手との会話は認められない（監督はたったままでもかまわない）。
8. タイミングが遅れた場合は、確認できた時点で給水タイムを適用する。

以 上